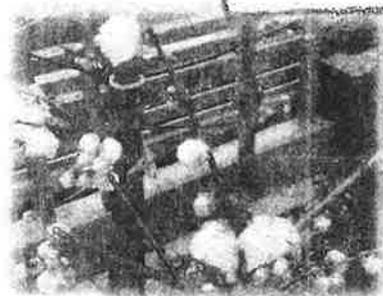


「自律」「共生」～学力向上 感動の創造 共有・一体感～

# 南部中学校だより

2023.1.31 第11号



近所で奥ゆかしく咲く蠟梅  
～花言葉「先導」「先見」～

## 2023年『卯年』にこめる願い

南部中学校長 黒見隆久

「新年あけましておめでとうございます」

1月もずいぶん経ちましたので、もうお正月気分ではないと思いますが、お互いに「おめでとう」とあいさつし合って、1年間無事に過ごせたことに感謝し、またこの1年お互いに元気で頑張りましょう！と気持ちを新たにして、スタートすることは大切なことですね。

さて、今年は卯年です。ウサギになぞらえて「飛躍」とか「向上」といった「跳ねる1年」となるように願われているそうです。未だに続くコロナ禍、ウクライナとロシアの戦争、それによる不安定な国際状況、日本経済の低迷など深刻な課題もたくさんあるなかで、2023年をどんな年にしていくのか、一つひとつのことを解決したり、好転させるためには何をすればよいのかを、私たち一人ひとりが考えていかなければなりません。

まさに、飛躍や向上するためには、自分から何かしら動き出さないとダメだということです。他人事のように「じっと待っている」だけでは、自分にプラスになることは起こらないのです。

「『棚からぼた餅』は落ちてこない」ということだと思います。今年を意味のある一年にするために、一人ひとりが目標を定めて「挑戦」してほしいと思います。

南部町（南部中、法勝寺中）では、令和5年度より中学校の部活動を「全員入部制」から「希望入部制」に変えます。全国的に部活動の大きな転換期を迎えていることは、今までの「学校の部活動」という考え方では、子どもたちにこれからの時代・世の中をたくましく「生き抜く力」を育て切れないということだと思います。社会が一体となって、さまざまなスポーツ、文化、芸術、生活、社会体験などを通して、自分で選ぶ力、判断する力、決める力、目標を持つ力、頑張る力など、これからの時代・世の中をたくましく「生き抜く力」を身につける必要性が求められているのだと思います。

部活動のあり方もまた、飛躍、向上、変革のために動き出さなければ何も始まらない、始めなければ何も変わらないという思いからの第一歩だと考えています。

保護者や地域の方々には、今年も学校からさまざまな情報発信や願いをしていきたいと思っています。また、地域の学校として何かお役に立てるような南部中学校でありたいと思っています。

今年も南部中学校は「ピョンピョン跳ねる」元気な学校でありたいと思っています。よろしくお願ひします。

## 2023高校入試のしくみが変わる ～先の見えない社会を生き抜くために～

近年、大学再編の動きや大学入試自体が大きく変わってきました。その中であって、鳥取県の高校入試も変わりつつあります。以下に、今年度の主な変更点をいくつか紹介いたします。

### ◆県立高校

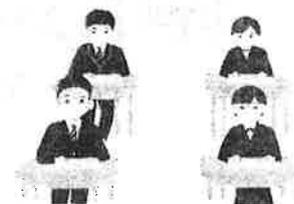
#### ①特色入学者選抜の開始(推薦入学者選抜廃止)

○実施校が示す「求める生徒像」に向けて努力し、要件を満たせば、自己推薦書やプレゼン、面接、作文などで受検できる。

#### ②一般入学者選抜の英語の聞き取り検査

○60分の検査時間のうち聞き取り検査が10分から15分程度に延長される。

○聞き取り検査では、英語で話す場面や状況を想定した質問に対して、自分の考えを英文で解答する問題が出題される。



### ◆私立高校・高専

#### ①Webで出願手続きを行う

○パソコン、スマホ、タブレットからWeb出願サイトへマイページ登録する。

○Web出願(必要事項の入力)後、Web決済や振込等で受験料を支払う。

○受験票を各自でパソコンからプリントアウトする。(今年度は、米子松蔭高校のみ)



このように、高校入試は、生徒一人一人が自分の進路をしっかりと見つめると共に、受験に向けた準備を主体的に進めることがより重要になってきました。

ある調査会社が行った、「今どきの『一昔』は何年?」というアンケート結果(19~79歳)によると、多い順に「5年」(33%)、「3年」(19%)、「10年」(15%)、「1年」(8%)だったそうです。これまでは、「10年一昔」といわれてきましたが、社会の変化のスピード感はどんどんアップしているようです。

令和5年度以降も、大学入試を見据えた様々な入試制度の改革が進んでいくことでしょう。同時に、先の見えない社会を生き抜くために必要な力を育む教育改革も、試行錯誤を重ねながら強く押し進められています。

各家庭でも、変わりつつある高校入試のしくみや将来の進路について、親子で関心を持ち、話題にすることがより大切になってきます。入試制度等について、何かご不明な点があれば、遠慮なく学校へご相談ください。

## 2023 大寒

先週の臨時休校後も、冬の厳しき続き、学校は雪にすっぽりと覆われたままです。敷地内の除雪はととも追いつかず、先日は生徒の手を借りて除雪をしました。

しかし、一方では「立春」も近づき、昨秋に植えたチューリップの球根は寒さに耐えて、一足先に春を告げてくれています。



南部中学校  
ホームページ  
「南中 NOW!」

